

灯籠コンテスト

今年で2回目となります灯籠コンテスト。今年もたくさんさんの素晴らしい作品が集まりました。どれも甲乙つけがたい作品ばかりでしたが、5つの作品に賞を贈らせて頂きました。夏の夜に灯籠と花火の綺麗な灯りが咲き乱れ、幻想的な時間をお過ごし頂きました。皆様の思い出のページに刻んで頂けたらうれしく思います。



コンテスト前のひとときに灯籠を眺めながら



最優秀賞

高橋 千恵子 様

このような賞を頂いてありがたかったです。



優秀賞

田澤 園 様



伊藤みよ子賞

今野 玲子 様

初めての経験で、満身に練習も出来ぬまま進められて書いて賞を頂く事になり、本人が一番びっくりしております。本当にありがとうございました。



入選

富樫 幸子 様

ありがとうございました。灯りをともして元気で皆で楽しみましょう。



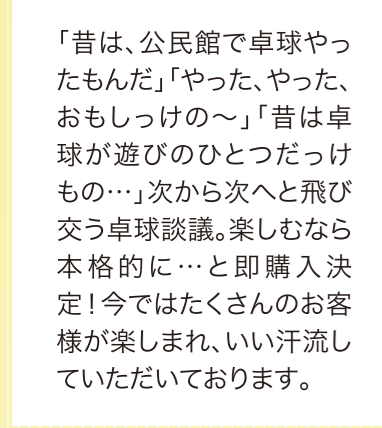
行事企画委員長賞

松田 敦子 様

大変、心熱く感謝しています。とてもうれしく思います。

灯籠流しは、ご先祖様の魂を弔って、灯籠やお盆のお供え物を海や川に流す日本の行事です。ひまわりでも灯籠の淡い火を見つめながら、ご先祖様や諸霊を敬い、徳い思いをめぐらせた、大切な時間となりました。

卓球台2台がデイサービスの仲間入り



「昔は、公民館で卓球やったもんだ」「やった、やった、おもしろい〜」「昔は卓球が遊びのひとつだったけど…」次から次へと飛び交う卓球談議。楽しむなら本格的に…と即購入決定！今ではたくさんのお客様が楽しまれ、いい汗流していただいております。



最後には手持ち花火、打ち上げ花火を楽しみました

アイス おいしいね



ひまわり

心に残るお話

あるパッタのお話

むかしむかし、あるところに
《いきあたりパッタ》というパッタが
気ままに暮らしておりました。
秋は《思月》の下で酒を飲み、
冬は《なり雪》のなかで遊びました。
ある春の日、ふと気がつく
胸のところに小さなシミがついていました。
気にしないようにしていましたが、シミは
夏になるともっともっと大きくなっていました。
洗濯しても取れません。
仕方なく病院に行くとその
知らない間に胸に積もった
《苦シミ》と《哀しみ》です…と云われました。
治す薬は、ないのですよ！と…。
しょんぼりしているとそこへ
極楽トンボがやってきて
『ほら元気だして！あそこを柿を
食べると楽になるよ！』と、いいました。
いきあたりパッタは急いでその
柿を食べました。でもシミは消えません！

『どうしてだろう？』
柿の木の名札を見るとそこには
《も柿》と《あ柿》と書いてあります。
シミはどんどん濃くなるばかり…
そこに今度は、真心トンボがやって来ました。
うっむいっているいきあたりパッタに
「そのシミをなくしたいならあの崖に登りなさい」
トンボの指差すほうを見ると険しい崖がありました。
とても登れそうにありません。
でもたくさんの虫たちが崖を登っておりました。
《命崖》という崖でした。
いきあたりパッタも登り始めました。
何度も落ちそうになりました。
苦しくてつらくて何度もやめようと思いましたが。
でもそのたびに真心トンボの声がよみがえります。
洋服は、ぼろぼろになり、いっぱいすり傷も
できたけどやっとなんか着きました。
立ち上がってシミを見るとすっかり消えていました。
やったー！！ばんざーい！！
いきあたりパッタさんは、それから
《がんばパッタ》さんと呼ばれるようになりました。(おわり)

(注) ある中学生が作ったお話が、なかなか素晴らしく、いろんな方が、いろんな所で話されています。ひまわりでもちょっと紹介させていただきました。

お知らせ 社内研修会 「整理・収納術」 ・H27.10/15(木)・16(金)
・デイサービスアブラ 18:00~19:30

※講師に環境管理センター小林秀樹様をお迎えしてご講話いただきます。

居宅介護支援事業所
訪問介護事業所
アメニティハウスひまわり
グループホームひまわり
☎0235-25-5145
鶴岡市稲生一丁目3-5

デイサービス
テンドラーハウス
☎0235-29-1852
鶴岡市みどり町22-7-2

エタニティハウスひまわり
☎0235-25-5160
デイサービス いいずん
☎0235-64-0604
鶴岡市稲生一丁目3-45

デイサービス
アブラ
☎0235-64-0302
鶴岡市稲生一丁目4-53

株式会社ひまわり
☎0235-25-5145 <http://www.himawari-s.co.jp>
〒997-0834 山形県鶴岡市稲生一丁目3-5 アメニティハウスひまわり2F

第8回

朝礼コンテスト



H27.8/4 にこ♥ふる



回を重ねる度にレベルアップしているコンテスト、今回は「これがひまわりの活力朝礼だ!!」が新人職員の皆様に肌で感じて頂く絶好の場となりました。毎日の朝礼こそが本番。コンテストに臨んだ姿勢・意識を日々継続させて行きたいです。

ケータリング/岡部早苗

とても緊張してコンテストに臨みました。練習を重ねるにつれて1つ1つ改善されていき、ピタリと揃った時には嬉しくなりました。しかし、ここで満足してはならないのだと、染谷工務店様のDVDを見て感じました。上には上がいる。つまり、私達も日頃からの意識を変えて朝礼をすれば少しでも近付くことはできるのだと思います。朝の一番最初にあの声を出せた時、1日の過ごし方、仕事への取り組み方は素晴らしい物になると思います。今回のコンテストは練習として、毎日の朝礼で、実践していきます。

アブラ/芝田亜沙美

初めて朝礼コンテストを見させて頂いて、又、午後からの勤務の私は久しぶりに朝礼を見て、自分の研修時の朝礼だとこの場には絶対立つ事が出来ないと感じました。今回、一番印象に残ったのは、「大きな迫力のある声」「キレイなキレのあるお辞儀」そして何より「笑顔」でした。皆さんとても緊張されていて中には身体が震えている方も居たのに、きちんと朝礼が出来ていた事が本当に素晴らしいと思いました。又、その後に観た染谷工務店様の朝礼は言葉に出来ない程で圧倒されてしまいました。私達新人も来年参加するとの事なので、それまでに少しでも近付けるように頑張りたいです。

いいずん/木村素子

私は久しぶりに朝礼を見てやっぱり、すごいなと思うと同時に朝礼の良さを感じました。グループごと、そして会社全体と一日を同じ気持ちで仕事に臨めるとっても有意義な時間なのだ改めて思いました。誓いの言葉、実践の決意は本当に今から仕事をがんばるぞという気合いが入る言葉だと思いました。私はこのひまわりに入って自分から学ぶ環境を与えられているのにそれを最大限活用できていないと実感していましたがこれを良い機会に積極的にいろんな事を学びたいとまた思いました。